

令和2年度第2回福岡県医薬品適正使用促進連絡協議会における委員の御意見

(1) 福岡県における取組み

| 協議会委員 | 御意見 | 回答 |
|-------|--|-------------------------|
| 秋下氏 | 処方適正化アプローチ事業は、それぞれの結果をすべて神村先生が論文化されているので、その点も記録に残すべき。 | 議事概要に追加しました。 |
| 大神氏 | 処方適正化アプローチ事業の医療機関向け研修会等の開催に関しては、病院薬剤師会主催の研修会などで協力していきたいと思えます。 | 今年度事業の中で検討したいと思えます。 |
| 福田氏 | 啓発チラシを薬局でもみかけるが、まだまだポリファーマシーについての考え方は浸透していないように感じる。高齢者等になぜ必要なかを周知できる様に病院等での取組みも必要。 | 頂いた御意見を今後の参考とさせていただきます。 |

(2) 令和2年度ポリファーマシー研修会について

| 協議会委員 | 御意見 | 回答 |
|-------|---|----------------|
| 秋下氏 | 講師・講義テーマ共に大変結構で、その成果がアンケート結果にも表れていると思えます。 | 御意見ありがとうございます。 |
| 大神氏 | 多職種参加を求めるのであれば、医師会だけでなく病院団体や各職種団体等にも共催をお願いすると良いと思えます。 | |
| 寺澤氏 | 看護師も研修会に多く参加されるといい。 | |

(3) 令和2年度お薬手帳の活用促進事業について

| 協議会委員 | 御意見 | 回答 |
|-------|--|----------------|
| 秋下氏 | 各種解析結果とアンケート結果を見比べると興味深い。重複処方者が対象なので、薬剤への向き合い方がいい加減なのかと言え、お薬手帳にかなりこだわりもあつたり、ベンゾ系処方も本人が意図的に重複してもらっている方が多いのではないかと。こういう方への薬剤師の関わり方は重要かつ慎重に。 | 御意見ありがとうございます。 |

(4) 平成30年度及び令和元年度お薬手帳の活用促進事業の概要

| 協議会委員 | 御意見 | 回答 |
|-------|------------------------------|----------------|
| 秋下氏 | 毎回持参する方が増える効果が確認できたことに意義がある。 | 御意見ありがとうございます。 |
| 寺澤氏 | 1人1冊を強力にすすめる必要があります。 | |

(5) 来年度の取組み(案)について

| 協議会委員 | 御意見 | 回答 |
|-------|---|-------------------------|
| 秋下氏 | 厚労省で今年度作成した業務手順書・スタートアップツールを運用するモデル医療機関(病院)を厚労省事業として実施、応募する予定なので、福岡県としても県病院薬剤師会などを通じて応募する病院を探したらいかがでしょうか？ | 御意見ありがとうございます。 |
| 福田氏 | 高齢者等になぜ必要なかを周知できる様に医療職だけではなく周りの多職種にも考え方をわかる(実践出来るようになる)研修も必要かと思えます。 | 頂いた御意見を今後の参考とさせていただきます。 |